

# 3人のお話を聞いて

(1) それぞれに背景は異なるし、

コミュニケーションの取り方は多様である。

(2) 聞こえにくい、聞こえない人から求められる対応は、

**他の人にも役に立つ**。AFN (Access and Functional Needs)

(例) やさしい日本語 → 外国人、子ども

コミュニケーションボード → 知的障害のある方

お酒の名前、料理の名前 → 私にとっても嬉しいサービス!

(3) 聞こえにくい、聞こえない人へのサービスは、

**「みんなのためのサービス」**である。

障害のある人への特別なサービスではなく、お客様が安全、安心して利用する、楽しむためのサービスに。